

# 救世主のしるし

ニューヘーブン コネチカット州 アメリカ合衆国

1958年05月28日

1 …幻のために、最初に何をすべきか、彼の言葉があります。あなたはそれが触発されたと信じていますか？彼は嘘をついたのでしょうか、それとも冗談でしたか？彼はそれをしませんでした。彼は言いました、「息子は彼自身で何もすることができません、しかし彼が父がしているのを見ていること：それは息子も同じようにします。父は働き、私はこれまで働きました。」

若い人たちのために：イエスは神が彼にしてほしいと望んでいた幻を見て、それをドラマで演じました。あなたはそれを見るために今日夕食の席に私たちと一緒にいるべきでした、同じことが起こります。

2 さて、気づいてください、そして聖書は彼がこれらの言葉を話したと言っています：「しばらくすると、世界は私をもう見なくなるでしょう。」それは不信者です、「それでもあなたがたはわたしを見るであろう。わたしはあなたと一緒に、あなたの中にさえ、世の終わりまでいるからである。」

さて、それは本当ですか、それとも本当ではありませんか？それについて話し合い、私たちの間で推論してみましょう。それは真実ですか？「私は…」私は個人的な代名詞です。「私はあなたと一緒に、あなたの中で、世界の果てまで一緒にいます。しばらくすると、不信者である教会の世界が出て来て、彼らは私をもう見なくなるでしょう。しかし、教会自体、あなたがた、私はあなたと一緒に、あなたの中に、その時代の終わりまでいるでしょう。」世は、それはまだ終わっていないので、キリストは同じままです。

3 さて、彼は「私はブドウの木であり、あなたがたは枝である」と言いました。さて、ブドウの木はそれ自体の実を結ぶのではなく、枝を一掃するだけで、枝は実を結ぶのです。あなたはそれを知っていますか？それでは、ブドウの木に行ったら、何を見つけないと思いますか？ブドウ。あなたがスイカのつるに行ったら、それが肥沃なつるであれば、あなたはスイカを見つけないでしょう。桃の木に行くと桃が見つかります。

しかし、もしあなたが…キリストがブドウの木であり、教会の彼のメンバーが枝であるなら、あなたは教会で何を見つけないべきでしょうか？「わたしがする業はあなたにもあります。これ以上のことをしなければならぬ。わたしは父のもとに行くからです。」

4 教会に行くとは何がわかりますか？「私たちは長老派です。」「私たちはバプテスト派です。」「私たちはペンテコステ派です。」「私たちはメッセージを受け取りました。」「私たちはこれを手に入れました。」

それはキリストではありません。キリストは神だったので、愛です。「持っている…これは、あなたがお互いを愛しているとき、あなたが私の弟子であることをすべての人に知らせるでしょう。」

しかし、「私たちはその集会には行きません。私たちの教会は協力していません。」

大丈夫です。「父が私に与えたすべてが来る」とイエスは言われました。

5 今気づいてください。それでは、聖書を調べて、そこで彼が何をしたかを調べてみましょう。人々は彼が救世主であることを知っているでしょう。そして、彼が救世主であることを人々に証明するために彼がしたことは何でも、彼は今同じことをしなければなりません、さもなければ彼は昨日、今日、そして永遠に同じではありません。あなたはそれを信じますか？

さて、私たちは、私たちの教会が異なった言い方をしていることを知っています。「ああ、私たちにはこの宗派があるからです。この慈善団体があります。」

それらのことは大丈夫ですが、それはキリストがしたことではなく、彼が言われたことでもありません。

6 それで、注目ください、振り返ってみましょう、私たちは聖ヨハネで読んでいます。第1章に戻りましょう—12節をみえています。第1章に戻って、彼がここで行った方法でこれらの引用を行った理由を調べてみましょう。よし。ヨハネによる福音書の第一章で、彼がバプテスマを受けた後、聖霊が彼の上であり、それが神であったことがわかります…

そして、彼は計り知れない御霊を持っていました。私たちはそれを測定によって持っています。ここにその考えがあります：海にあるすべての水はキリストにあった御霊でした。私たちの中にあるのはその海からスプーン一杯ですが、同じ化学物質が海全体にあるスプーン一杯にあり、それほど多くはありません。彼はそれを持っていました、すべての水は彼にありました、そして私たちはスプーン一杯を持っています。彼は次のとおりでした。彼は神が肉体を作り、私たちの間に住んでいたのです。彼はインマヌエルでした。しかし、

私たちは彼の恵みによって養子にされています。

さて、私たちがバプテスマを受ける聖霊の完全さの中で彼が聖霊を受けた後、彼は聖霊の完全さを受けました。さて、私たちは彼のミニストリーがここヨハネによる福音書1章ですぐに始まるのがわかります。

7 そして、救われたある人がいました。そして、救われるとすぐに、彼は兄のシモンのところへ行き、主イエスの前で兄を連れ戻しました。そして、イエスが初めて彼に会ったとき、彼は彼の名前が何であるかを彼に話し、彼はそれをシモンからペテロ、ケパに変えるつもりであると彼に言いました。彼はそれをしましたか？そして、彼は彼の父の名前、ヨナが何であるかを彼に話しました。「あなた、またはあなたの名前はシモンです。ヨナの子である。」

さて、覚えておいてください、これが初めにあったことです。そして、ペテロは無知で無学な男でした、彼は教育を受けたことがなく、彼は自分の名前を署名することさえできませんでした。聖書は彼が無知で無学であると言っていました。教育がこれほど大きな役割を果たすとしたら、それはどうでしょうか。そしてその男は天国(御国)への鍵を与えられました。

私たちはすべての学校や物事でどこに行きますか？私たちがそれらを持っていないと言っているのではありませんが、あなたはあなたの教育にあまりにも重点を置いています。それは大丈夫ですが、それであなたを救うことは決してありません。あなたが見ないなら、それはあなたを酷評するでしょう。教育は福音がこれまでに持っていた最大の障害でした。そうです、なぜなら人々は裏をかくようとするからです。

8 それは、私たちの犯罪記録です…少年のFBIの責任者であるアルファラー大尉が私の会議で回心したとき、彼は言いました。「ブラナム兄弟、あなたのその発言は真実です。ここで、米国で過去10年間に発生したすべての少年事件について説明します。これは、教育を受けた人々の間で起こった事件です。」そうです。その90パーセントはそうです。彼らはとても賢いので、法律やそのようなことを考え抜くことができると考えています。そういうわけで、彼らは困っています。

そして彼らはこう思います。「まあ、私たちは素晴らしい教会を手に入れました。私たちは素晴らしい名前です。」そうではありません。あなたは新たに生まれなければなりません。それがなければ、どんなに上手くても、完全に失われてしまいます。カインはアベルと同じくらい良かった、アベルと同じように崇拜し、アベルと同じ教会を建て、アベルと同じように犠牲を払った。そして神は彼が霊的な啓示を持っていなかったのを彼を拒絶しました、何が正しかったのか。イエスは言われました、「同じ霊的な啓示の上に彼は教会を建てました。そして地獄の門はそれに打ち勝つことができませんでした。」聖霊による霊的な啓示。

9 さて、イエスは何をしていますか？彼はユダヤ人のところへ行き、彼自身を知らせます。さて、これが起こるとすぐに、ピリポという名前の人がありました。彼はそれがスリル満点だと思ったので、山の周りを15マイル進み、ナタナエルという名前の友人を見つけました。そしてナタナエルは彼を見つけたとき、木の下にいて祈っていました。そして彼はナタナエルが祈りを終えるまで待ちました、そしておそらく彼が起きたとき、彼は言いました、「こんにちは、ピリポ。お会いできてうれしいです。」

彼は「私たちが誰を見つけたか見に来てください」と言いました。それだけです。「どうしますか？」と言う時間すらありません。はじめまして。あなたの妻は大丈夫ですか？」彼にはメッセージがありました。

10 そして、もし教会がキリストについてそれをわくわくさせるならば、何かが起こるでしょう。しかし、私たちはあらゆる種類の社会的ですべてを続けることができました。私たちが死にかけているのも不思議ではありません。確かに。そして、私たちはロシアがここにやって来るのではないかと心配しています…それについては心配しないでください。それを傷つけるのはリングをつつくロビンではなく、それを殺すのは核心にあるワームです。それは私たちの間の私たち自身の腐敗が私たちを殺しているものです。

私たちは神のために立った男性と女性の本当のクリスチャンのバックボーンでした…水曜日の夜に教会に行く代わりに、私たちは家においてロックンロールのテレビ、アーサー・ゴッドフリー、そしてラジオでこれらの他のすべての人々を見ました、そして私たちはスージーが大好き。それはあなたが神を愛するよりも世界を愛していることを示しています。あなたの心が神のためであるならば、神が最初に来て、それはあなたの心のすべてです。

11 ナタナエルは…言った、「私たちが見つけた人、ヨセフの息子、ナザレのイエスを見に来てください。」

そして今、彼は…彼がこう言うのを聞いたと想像できます。「ちょっと待って、ピリポ。あなたは確かにそ

れの悪い方向性に行きました。あなたは最深部に行きました。私はあなたが男であり、正直な男であることを知っていました、そしてここであなたはあなたがそのような何かで去ったと私に言うつもりですか？なぜ、あなたはいくつかの狂信に陥ったに違いありません。ピリポ、あの男が救世主だったとしたら、彼がどこに来たのか知っていますか？彼はエルサレムに行きました。彼は大祭司である司祭のところに行きました。彼は言うだろう、「神の大祭司、偉大なカヤパ、私たちはあなたが国で最も賢い人、国で最も偉大な宗教的な人、そしてあなたがたすべての聖なる司祭であることを知っています、あなたはすべての言葉を知っています。」彼はそこに来て、彼自身を知らせてくれました。」

あなたカトリック教徒は彼がバチカンに行くと思っています。あなた長老派は彼が司教に行くと思います。あなたペンテコストは彼が州の長老に行くと思っています。しかし、彼は彼が行きたい人に行きます。それは彼の仕事です。

12 そして彼は、「ナザレから何か良いものが出てくるだろうか」と言いました。

ピリポは彼にどんな人でも彼に与えることができる最良の答えを与えます。彼は、「来て、自分の目で確かめてください」と言いました。方法があります。家にいて批判しないでください。調べに行ってください。聖書でそれを調べてください。自分で調べに来てください。山の周りの道で、ナタナエルの声が聞こえます…「その時から魚を買った年配の漁師が領収書に署名できなかったことを知っていますか？」と彼に言いました。

「ええ。」

「彼は先日彼の前に現れました。彼の名前はシモンでした、ご存知のように、彼は彼に彼の名前が何であるか、そして彼の父親の名前が何であるかを彼に話しました。彼があなたが誰であるかを知らなくても、私は驚かないでしょう。」

「さて、ピリポ。さて、ピリポ。さて、あなたは私にそのことを言うことはできません。そこに着いたら決心します。」

13 それで、彼が初めてイエスの臨在の中に入ったとき、イエスは周りを見回して、「見よ、罪のないイスラエル人を見よ!」と言いました。さて、彼はアラブ人であった可能性があります。彼はギリシャ人だったかもしれない。彼らは皆、同じような服を着て、同じように見え、暗い人種で、ひげ、ターバン、ゆるい衣服、ローブを着ていました。そしてそれ以外に、彼は不信心者であった可能性があります。彼は批判者だったかもしれませんが、彼は「あなたはただの人であり、罪のない人です」と言いました。

そして彼は彼を見て言いました、「ラビ、あなたはいつ私を知ったのですか？私があなたに会ったのはこれが初めてです、またはあなたが私に会ったのです。いつあなたは私を知ったのですか？」

彼は言った、「ピリポがあなたを呼ぶ前に、あなたが木の下にいたとき、私はあなたを見ました。」

そのユダヤ人は何と言いましたか？これが、本当の信者の態度です。彼は彼を見て言った、「あなたは神の子。イスラエルの王です。」

14 しかし、そばに立っていた賢い司祭たちがいました、彼らは言いました、「この男のベルゼバブ。彼は占い師です。」

イエスは振り返ってこう言われました：「あなたは人の子である私に対してそれを話します、私はあなたを許します：しかし」言い換えれば「聖霊が来る日が来る、そして彼が同じことをする日が来る」、これに反対する一言は、この世界でも、これからの世界でも、決して許されることはありません。」聖書がそう言っていることを知っている人はどれくらいいますか？そうです。許されない罪は、聖霊、聖霊の働きを汚れたものと呼ぶことです。そこには…「あなたはそれを決して許されることはあり得ない」とイエスは言われました。

15 さて、気づきましたか？ イエスは弟子たちが異邦人に行くことを禁じていたので、異邦人に対しても、異邦人の前でそれをしたことはありませんでした。そして、シロフェニックスの女が彼に言ったとき、「さあ、私の娘を憐れんでください」。

彼は…彼女は言いました…彼は言いました、「私はただ…私が子供たちのパンを取り、それを犬に投げるのは相応しくない。」

そして彼女は言いました、「はい、主よ、それは本当です、私はそれを知っています:しかし犬はパン屑を食べます。」

彼は言った、「あなたには大きな信仰があります。あなたがそれをそのように信じたなら、同じようにそれを見つけに行きなさい。」それは彼が彼女に言ったすべてです、彼女のための幻はありません、彼女自身の信仰にそれをさせてください。ね。

さて、彼はそれをしました、そして彼は弟子たちがそれをすることを禁じました。今、私たちは人々、または人種の3つの国籍しかないと知っています。それはハム、シエム、そしてヤペテの人々です。それはユダヤ人、異邦人、そしてサマリヤ人であり、サマリヤ人はユダヤ人と異邦人の半分です。あなたはペテロが王国の鍵を持っていることに気づきました。彼はペンテコステでユダヤ人にそれを開いたのです。サマリヤを通り抜けました。コーネリアスの家まで。二度とそれは使われませんでした。世界には3つの種族があります。

16 さて、彼の時代の「彼は…」、「彼は彼自身に来ました、そして彼自身は彼を受け入れませんでした。」さて、彼をからかって、彼がベルゼバブ、悪魔、テレパシー、占い師、または悪霊であると言った人々は、「私はあなたにそれを許すつもりです」と言いました。彼らは決して…聖霊がまだ国に注がれたことはありませんでした。「私はあなたを許します。しかし、聖霊が来たとき、それに反対する言葉は一言もありません。さもないと決して許されません。」と言いました。

17 そして今、気づいてください、ある日、彼はサマリヤを経由して行きました。そして、彼がそうしたとき、彼は必要がありました、そのように行きなさい、そして彼はいくつかの食物を買うために彼の弟子たちを都市に送りました。そして、そこには小さな場所、街の外の井戸、少しパノラマがあり、公共のポンプがある場所、彼らが水を手に入れる場所があります。そして、ポンプの上を走るウィンドルがあり、女性はフックを持ったピッチャーを持ってそこに出てきます、彼らは周りを回って、井戸に降りして水を手に入れ、それを持ち上げて頭に置きます、そして、それぞれの腰に1つずつ、話しに浴って歩いて、続けてください。

イエスは弟子たちが戻るのをそこで待っていました。そして、彼が待っている間に、彼女がきれいな女性だったとしましょう、本当のきれいな女性がそこに歩いて来ます。彼女はサマリヤ人でした。そして、彼女は水を得るために鍋を井戸に降りし始めました、そして、彼女は聞いた、「女性、私に飲み物を持ってきてください」と誰かが言いました。

そして彼女は周りを見回しました、そしてそれはそこにユダヤ人の設定でした。彼女は言いました。「まあ、私たちはお互いに何の関係もありません。あなたはユダヤ人で、私はサマリヤの女性であるサマリヤ人です。」言い換えれば、彼らは分離、人種の違いを持っていました。

しかし、彼は彼女に違いがないことを知らせました。彼は言いました、「あなたが誰と話しているのか知っていれば、あなたは私に飲み物を頼むでしょう、そして私はあなたがここに引き寄せに来ない水を持ってくるか、あなたに水を与えるでしょう。」

さて、聞いてください、それは昨日のイエスでした。今、彼はサマリタンにいます。追放されたユダヤ人とサマリヤ人、異系交配者。そして今、もう一度見てください。

18 そして彼女は言いました、「あなたは私たちの父、この井戸を掘ったヤコブよりも偉大だということですか?。」ほら、彼らも神を主張しました。「彼は井戸を掘りました。彼の子供たち、それと彼の牛もそれから飲みました、そしてここであなたはあなたが持っていない水を得たと言います…あなたはあなたが彼よりも大きいと言うのですか?」

そして、会話は続きました。彼は何をしていましたか? 彼女の精神に連絡して、見てください。そして、彼が彼女の問題が何であるかを見つけたとき、彼は彼女の問題を見つめました。そして彼は、「女性よ、行って、あなたの夫を連れて来て、ここに来なさい」と言いました。

彼女は「私には夫がいません」と言いました。

彼は言いました、「そうです。あなたは5人の夫がいましたが。あなたが今一緒に住んでいるのはあなたの夫ではありません。あなたは真実を語ったのです。」

さて、彼女は何と言いましたか? 「言わせてください、あなたは占い師ですか? それは精神的なテレパシーですか? あなたはベルゼバブですか?」いいえ、先生。彼女は合衆国の説教者の半分が知っているよりも神についてもっと知っていました。彼女、売春婦でありながら。

彼女は言いました、「先生、私はあなたが預言者であると見做します。」さて、その参照を実行すると、モーセが話した預言者に戻ります。「私はあなたが預言者だと思います。私たちは知っています、私たちはサマリア人です。」今、彼らがどのように教えられたかを見てください。「救世主がいつ来るかを知っています。彼は私たちにこれらのことを教えてくれます。しかし、あなたは誰ですか？」

19 それは何でしたか？ 救世主のしるし。それはユダヤ人に対するものであり、サマリア人に対するものでした。異邦人は異教徒でした。彼らは救世主について何も知りませんでした。彼らは偶像、太陽の神々、そしてすべてを崇拜していました。それが私たちのクラスでした。を参照してください。

そして、「救世主がいつ来るか知っています…」と言いました。それが彼がそれを宣言しなければならなかった理由です、彼らは彼のことを聞いていました。「私たちは彼が来るとき、彼は私たちにこれらのことを話してくれることを知っています。しかし、あなたは誰ですか？」

彼は「あなたに話しかけるのは私です」と言いました。

そして彼女は街に駆け込み、「さあ、私がしたことを私に言った人を見てください。これはまさに救世主ではないのですか？」と言いました。

20 それが彼を探していたイスラエルに彼自身を知らせた方法であるなら、また、彼が来るのを探していたサマリタンにも。今日、彼が来るのを探している異邦人はどうですか？ もし彼がそのように行動し、彼が神であることを変えることができないなら、それが彼自身を救世主にするために彼が彼らに示したしるしであるなら、真のユダヤ人はそれを信じていました。

ああ、すごいでんぷん質で、彼はそれを信じていませんでした。彼はそれが最初から信じていませんでしたが、彼は神聖で純粋な人でした。彼は素晴らしい人でした。

しかし、神学者たち、私たちは今日そのように彼らを手に入れていません。彼らは、彼が司祭になる前に、特定の世代、レビ人を経なければならなかったのです。彼の父の父の父の父の父は司祭でした、そして、彼は傷なしで、聖なるその血統を降りなければなりません。それはそれとは何の関係もありません。

21 あなたは決して嘘をつかず、同じように真実に生き、毎晩教会に行き、同じように敬虔になり、あなたの代価を払い、すべてを行い、祭壇にひざまずき、礼拝し、地獄に行くようになるかもしれません。その箱にマーティン。それが聖書が言っていることです。それがカインがしたことです。しかし、とにかく、私たちの自己流の宗教は私たちをどこに導いているのでしょうか？ それは私たちを神から遠ざけています。確かにそうです。

22 さて、注目してください。本当の真のユダヤ人であるユダヤ人はそれを信じていました。そのしるしが実行されるのを見るやいなや、彼は言いました、「それが救世主です。あなたは神の子です。あなたはイスラエルの王です。」

イエスは言われました、「私があなたに言ったとき、あなたは信じているので、あなたは来る前に木の下にいました、あなたは信じますか？ これよりも素晴らしいものが表示されます。」

そして、井戸の女性は、「私たちはそれが起こることを探しているのです、救世主がそれらのことをすることを知っています」と言いました。しかし、あなたは誰ですか？ あなたは預言者ですか？」

彼は「私は救世主です」と言いました。

彼女は来て、男たちに言いました、「さて、あなたは救世主がこれらのことをするだろうと私に教えてくれました。さて、私がしたことを私に言った男がそこにいます。これは救世主ではありませんか？」

23 さて、もし彼が同じように行動しなければならないなら…今覚えておいてください、それは異邦人の前には決して行われていませんでした。私たちは2000年にわたって半暗と半明を過ごしてきました。教会に加わる。しかし、彼が二千年後に復活したキリストである彼自身を宣言しなかったならば、彼は不当であり、偏見を示すでしょう。

そして、私たちが大きな教会を手に入れたからではありません。それはしるしではありません。ビリー・グラハム、オーラル・ロバーツ、そして私たち全員が全国を歩き来し、素晴らしい会員が教会に入ってきたからです。それはしるしではありません。それはまったく兆候ではありません。それは彼がしたことではありません。

せん。「ここを見てください、ジョンよりも大きな群衆を引き寄せます」と言ってください。それは兆候ではありませんでした。しかし、救世主のしるしは、私がここで彼がしたことについて話していることでした。

もし彼がその世代のユダヤ人の前にそれをし、断ち切られ、彼らが彼を探していた混血の場合、彼はこの異邦人の世代の前に同じことをしなければなりません、さもなければ彼がそこで行動したときに間違ったことをしました。もし彼が私たちのすべての神学やそのようなことで私たちを入れさせ、彼らが破壊される前に彼が彼らにしたように彼自身を宣言しないなら…

そして、これは時が近づいていることを証明する素晴らしい兆候です。それはユダヤ人にとって手元がありました。そして、すべての聖書の教師は異邦人の神権時代が終わりであることを知っています、そして彼は再びユダヤ人に目を向けるべきです。そして神はヒトラー、ムッソリーニ、それらすべての独裁者、そしてロシアの心をかたくなにされました。そして、それらのユダヤ人をパレスチナに連れ戻し、そこで彼らはそこに立っていると思われま

24 私はある写真を手に入れました:科学によると真夜中の3分前。そして、それらのユダヤ人は、彼らの愛する人、年をとった、不自由な人を背中に詰めてやって来ます。あなたはそれをルック誌、ライフ、イランから降りてきて、それらの古いユダヤ人を詰め込んでいる場所で見ます。そして私の友人が彼らのところに行き、すべてをコダクローム色で手に入れました、「あなたは故郷に戻ってきますか?死ぬ?」

「いいえ、私たちは救世主に会いに戻ってきます。私たちは死ぬために戻ってくるのではありません。私たちは救世主に会いに戻ってきます。」

イエスは、「イチジクの木が芽を出すとき、この世代(40年)は、これらすべてが成就するまで、止まらない」と言われました。

分かりますか?何が起きているのですか?異邦人への最後の呼びかけ。国々はいつでも粉碎される準備ができています。そしてそれについて考えると、それが起こる前に、教会は最初に家に帰ります。そして、もし私たちが朝と裁きの前に粉碎されることができたら、教会の家に帰るのはどうですか?それはいつでも来る可能性があります。確かに。ああ、目を覚ましなさい、人々よ、みことばを読んであなたの内にあるあなたの霊的な魂を揺さぶってください。終わりです。その時が近づいています。

25 私たちには神学があり、教会時代がありましたが、今がその時です。そして今、ユダヤ人への最後のしるしは何でしたか?主イエスの出現。異邦人への最後のしるしは、彼が聖霊の霊の内に戻って彼の教会に戻り、彼がその時と同じことをして、昨日も今日もそして永遠に彼自身を宣言することです。外を見ると、新聞を読んだり、空に書かれた文章を見ることができます。ほら、私たちは運命にあるはずで

26 神がこの国が犯している罪を乗り越えさせた場合、神は正義の神として、ソドムとゴモラをよみがえらせ、彼らを焼き尽くしたことを謝罪する義務があります。彼らは私たちがしているのと同じ罪をしています。神は罪人を愛していますが、罪を憎んでいます、そして彼は正義であり、それは裁かれなければなりません。

そして彼がしていること:彼の息子は今日、聖霊の形でその土地を移動しています。そして教会はそれを刺激し、それから離れ、それをからかって、ただ裁きを送ることができるようにしました:彼がすることを約束したこと。イエス・キリストは昨日も今日もそしていつまでも変わる事がないのです。そこで自分自身を宣言し、約束し、預言した同じ主イエスは、これらすべてのことが起こると言いました:そしてここにいます。私たちはそれについて何を

27 ここに小さな絵があります。誰かがそれについて私に尋ねました:その光。今、私のことを忘れてください。私はただの男です、ほら。私たちは光について話しているのです。それは火の柱です。FBI、指紋、文書の責任者であるジョージJ.レイシーがそれを調べました。それは、ワシントンDCの宗教芸術ホールの向こう側にぶら下がっています。唯一の超自然的な存在がこれまでに撮影されたものです。スイスにあります。それはドイツにあります:彼らがそれを取ったところ

なぜ散らばらないのですか?なぜこれが知られていないのですか?わからない。それが通り過ぎるまで、彼らはこれらのことを決して知りません。彼は持っていたと言って、それを賢明で賢明な人の目から隠し、学ぶようなベイビーに明らかにされました。イエスがそう言われたことを知っている人はどれくらいいますか?神に感謝します。

28 あなたはカトリックの人々です、あなたは聖パトリックが誰であるかを決して知りません。彼はそもそもカトリックではありませんでした。しかし、彼が長い間死んだ後、あなたは彼が聖人であることに気づきました。アッシジの聖フランシスはどうか？ 聖書を腕に抱えて歩く説教者。その時あなたは彼を認識していませんでした

ジャンヌダルクはどうか？ カトリック教会は彼女を窮地に追いやった、そして彼女は憐れみを求めて叫んだ。あなたは彼女を魔女、ベルゼバブとして火あぶりの刑に処しました。霊に満ちた女性は、幻を見て、しるしと不思議を行いました、そしてあなたは彼女を魔女として、ベルゼバブとして燃やしました。しかし、約100年後、あなたは彼女が聖人であることに気づきました。もちろん、あなたは悔い改めをし、彼らに司祭の体を掘り起こし、それを川に投げました。今、彼女は聖人としてしまいました。

29 神はいつも憐れみ、しるしを送られます。彼は賢明で賢明な人の目の上を行き、赤ん坊に明かします。彼は自分の教会を呼び、それを封印します。そこに行きます。彼はただです。彼はそれを送った。彼は御言葉を守る義務があります。

その日にそこにいたユダヤ人の多くを見てください、マタイ12章、彼は彼らの多くが彼がしたことを見たと見ました、しかし預言者がイザヤに言ったので、彼らは彼を信じることはできませんでした。見て、耳で、彼らは聞くことができません」； 盲目。

異邦人は信条と宗派によって盲目にされています。彼らは、神秘的で復活したイエスが彼の教会の中で彼の霊の中で動いて、彼がしていることを最後の時にここでしているのを見ることができません。

おお、神様、目を開けてください。目を開けては私の祈りです。

30 私たちが閉じる前に、彼がしたもう一つのこと。ある日、彼は通りかかっていた…彼には視力が見えませんでした。彼は小さな群衆の中を通りかかっていた、そして彼らは皆彼を撫でたり、彼の手を振ったりしていました。そして小さな女性が心の中で言いました、「私は彼が聖なる人であると信じています。私は彼が神の子であると信じています。そして、私はほんの小さな女性です。」そして、彼女は閉経期に血液の問題を抱えていました、そしてそれは何年もの間彼女がそれを持っていて、彼らはそれを止めることができませんでした。医者はそのことについて何もできませんでした。そして彼女は、「彼の衣服に触れることができれば、私は完全になると信じています」と言いました。そして彼女は彼の衣服に触れました。さて、パレスチナの衣服はゆるく垂れ下がっています。あなたはそれに触れることができませんでした…境界線、それはその底で、ずっと緩んでぶら下がっています。そして、彼女はその衣服の境界に触れました。彼女はおそらく彼の下に立っていて、国境に触れました。彼は少し歩き、振り向いて、「誰が私に触れたのですか？」と言いました。

それが昨日のイエス様でした。聖書は今夜、「彼は大祭司です」と言いました、「彼は我々の弱さを思いやる事が出来る方です」。そうですか？ 昨日も今日もそしていつまでも変わる事がないのです。

31 その女性は彼に触れました。彼は「誰が私に触れたのですか？」と言いました。

そしてペテロは…ああ、使徒の頭の一人だったので大きく感じたので、「今」と主イエスを叱責し、「なぜそんなことを言うのですか。さて、誰があなたに触れたのか誰がわかるのでしょうか？ 誰もがあなたに触れています。」

イエスは言われました、「しかし私は弱くなった。美德は私から出て行った。」ああ、それは私があなたにニューヘブンの人々が触れてくれることを願っているタッチです。

「私は弱くなったと感じています。美德は私からなくなりました。」みんなじっとしていました。彼はそこに立っている彼の小さな人々のグループ、彼らの周りの川の周りの漁師を見回しました。そして彼はそこを見て、その小さな女性を見ました。彼は本当の信仰とは何かを知ることができる力に耐えられました。彼はその女性に言い、彼女の状態を話し、「あなたの信仰があなたを救った」と言いました。

32 それが昨日のイエス様でした。聖書は、彼は昨日も今日もいつまでも変わる事がないのです、私たちの弱さを思いやる事が出来る大祭司、ヘブライ人、新約聖書であると言っています。

それから、もし彼がまだ大祭司であるなら、あなたが彼に触れたなら、あなたが今いる聴衆の中において、「神よ、私にあなたに触れさせてください、イエス様、私はあなたを信じます」と言うなら、興奮するのではなく、ただ触れてください彼、彼はどのように行動しますか？ 彼はその時と同じように行動しなければならない

でしょう、さもなければ彼は同じイエスではないでしょう。分かりますか？彼は反論し、彼の教会の唇を使い、同じことを言わなければならないでしょう。彼はすぐに話して、彼がその時したのと同じことを言わなければならないでしょう、さもなければ彼は同じイエスではなく、彼は同じ大祭司ではなく、彼は別の人です。

しかし、彼は今夜生きています。ああ、私はそれをとてもうれしく思います、友人。彼は生きています！そして、私たちが…休むことができるものが1つもないこの日、あなたは…あなたは…私たちはただ…私たちは終わったのです。耐えられるのはただ一つ、それは神の御国なのです。

33 私たちの国？なくなった。彼女はシロアリを中心に食べています。私はエジプトのパロがいる場所に立っていました。彼らの宮殿を見つけるために20フィート掘らなければなりませんでした。そしてローマではカイザルと一緒に。そして、決して道を譲ることができない王国が来るので、すべての王国は道を譲ります、それは神の王国です。これらの他の人、すべての死すべき者は不死に与えます。

しかし、私たちが持っている偉大な国。それでも聖書は、太陽の下にあるすべての国は悪魔によって支配されていると言っています。イエスはそう言われました。すべての国は悪魔に支配されています。それが私たちが戦い、私たちのやり方を続ける理由です。サタンは「彼らはすべて私のものだ」と言いました。彼は彼に、「あなたが私を崇拝するなら、ここでそれらすべてをあなたにあげます」と示しました。イエスは彼が彼らの相続人になることを知っています。彼は言った、「サタン、あなたをわたしの後ろに置いてください」。分かりますか？彼は自分が彼らの相続人であることを知っていました。

そして、私たちがいる限り…素晴らしい大統領を迎えました。さて、私は政治家ではありませんが、アイゼンハワー氏が好きで、彼は素晴らしい人だと思いますが、この米国のすべての郡にドワイト・アイゼンハワーを置いたとしても、彼女は罪を犯し続けるでしょう。聖書は彼女がそうするだろうと言っていました。そういう事なのです。その時はここに来ているのです。

34 友人、少し前に、私は第一次世界大戦の直後にフィンランドに旅行に行きました…第二次世界大戦の直後。私はそれらのフィンランド人女性が夜間にすべての馬具に引っ掛かり、ハローを後ろに引きずっているのを見ました。男性、小さな子供たちがランタンを詰めています。彼らは夜のために止まらず、ただ続けます。戦争は終わり、彼らは小麦を植えなければなりませんでした。もし彼らが小麦を入れなかったら、来年は作物がなくなるでしょう、彼らは皆飢えて死んでしまうでしょう。ランタンと一緒に走っている小さな仲間、そして彼らはとても疲れているでしょう。そして母親が引っ張ったり、汗をかいたり、肩をこすったり、そしてすべて。若い女の子、そしてすべて。お父さんが後ろに来て、そのように小麦を投げます。とにかく引っかいて、表面を引っかいて、小麦を入れてください。雪が来ています。すべての冬に横たわっています。小麦も生命もありません。

そして兄弟よ、それが今日の神の国でのやり方です。あなたが思っているよりも遅いのです。大きなリバイバルのために立ち止まり、表面を傷つけ、種を取り入れる時間はありません。



[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7